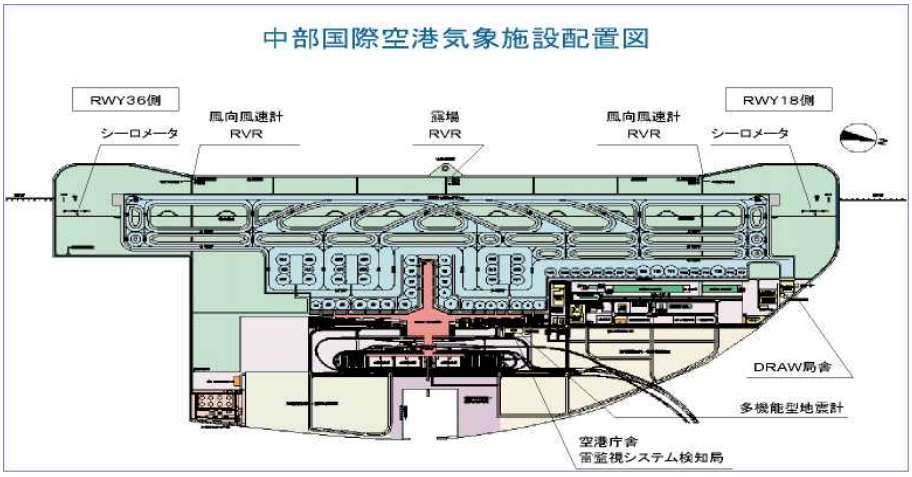
「セントレアの気象」
年　報

2019年1月～12月

目　次

○月別概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
○風（風配図）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
○風（10分間平均風速）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
○雲底の高さ（ＣＩＧ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
○卓越視程（ＶＩＳ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
○滑走路視距離（ＲＶＲ）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
○低層ウィンドシアー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
○台風　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～9
○飛行場警報・飛行場気象情報発表状況　・・・・・・・・・・・・10～11
※航空気象観測年表
※観測極値順位表（2005年2月17日～2019年12月31日）

本資料に使用している時刻は、日本標準時（JST）を基準に作成しています。
なお、協定世界時（UTC）を使用した場合は、その都度明記しています。



中部航空地方気象台
Chubu Aviation Weather Service Center

【月別概況】

○1 月

日本付近を低気圧が周期的に通過し、その後は冬型の気圧配置となり、25～30kt の北西の風の吹く日が多くなりました。26 日は上空に今冬一番の寒気が流入し、夕方には降雪を観測しました。降雪に伴って一時的に VIS が悪化し、IMC となりました。また、昼過ぎから夕方を中心にガストを伴って 30kt を超える北西の風が吹きました。最大瞬間風速 48kt、最大風速 39kt を観測し、日最大瞬間風速は 1 月として開港以来第 1 位、日最大風速は 1 月として開港以来第 3 位の観測値となりました。

○2 月

上旬から中旬は日本付近を低気圧が周期的に通過し、その後は冬型の気圧配置となり、ガストを伴って 25～30kt の北西の風が吹きました。下旬は日本の南を低気圧が通過し、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日がありました。

○3 月

上旬は日本の南を低気圧が周期的に通過し、雨やもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC となった日が多くなりました。中旬から下旬は周期的に日本付近を低気圧が通過し、西高東低の気圧配置となり、30kt 前後の北西の風の吹く日が多くなりました。22 日は最大瞬間風速 46kt、最大風速 38kt を観測しました。

○4 月

周期的に西高東低の気圧配置となり、ガストを伴って 30kt 前後の北西の風の吹く日がありました。中旬から下旬は日本の南を低気圧が通過し、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日がありました。25 日は霧が発生し、VIS が 300m まで悪化しました。

○5 月

中旬は高気圧に覆われる日が多くなりましたが、全般的に日本付近を低気圧が周期的に通過し、また、寒冷前線の通過に伴って雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日がありました。27 日は海上で霧が発生し、セントレアに流入したため、VIS が 300m まで悪化しました。

○6 月

日本の南に前線が停滞し、前線上を低気圧が周期的に通過したため、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日がありました。また、上空に寒気が流入し、大気の状態が不安定となり、積乱雲や雷を観測した日がありました。15 日から 16 日は低気圧の接近、通過により、ガストを伴って 30kt 前後の南東や北西の風が吹きました。東海地方の梅雨入りは 6 月 7 日ごろ（平年は 6 月 8 日ごろ）となり、月の総降水量は下旬を中心に多く、186.5mm を観測しました。

○7 月

上旬から中旬は日本の南岸に前線が停滞し、前線上を低気圧が周期的に通過したため、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日が多くなりました。下旬は太平洋高気圧に覆われる日もありましたが、上空に寒気が入り、大気の状態が不安定となったため、雷や積乱雲を観測した日がありました。27 日は台風第 6 号が三重県から岐阜県へ進み、30kt 前後の南東の風が吹き、最大瞬間風速 42kt、最大風速 33kt を観測しました。

東海地方の梅雨明けは 7 月 24 日ごろ（平年は 7 月 21 日ごろ）となり、月の総降水量は中旬を中心に多く、237.5mm を観測しました。梅雨の期間（6 月 7 日から 7 月 23 日）の総降水量は 407.5mm となりました。

○8 月

上旬は太平洋高気圧に覆われ、晴れた日が多くなりましたが、中旬から下旬は台風の影響や日本付近に前線が停滞し、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC になった日が多くなりました。また、大気の状態が不安定となり、積乱雲や雷を観測した日がありました。14 日から 16 日は台風第 10 号が日本の南を北上し、15 日には広島県呉市付近に上陸しました。ガストを伴って 25kt 前後の南東の風が吹き、最大瞬間風速 50kt、最大風速 39kt を観測しました。

○9 月

全般的に日本付近は前線が停滞し、上旬を中心に南から暖かく湿った空気の流入や雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC となった日がありました。また、大気の状態が不安定となり、雷を観測した日が多くなりました。22 日から 23 日は台風第 17 号が九州の西を北上し、日本海で温帯低気圧に変わりましたが、ガストを伴って 25kt 前後の東から南東の風が吹き、22 日は最大瞬間風速 39kt、最大風速 35kt、23 日は最大瞬間風速 38kt、最大風速 31kt を観測しました。

○10 月

上旬は高気圧に覆われた日が多くなりましたが、3 日から 4 日は日本海にある低気圧からのびる寒冷前線の通過により、雨の強まりやもやによる VIS の悪化で IMC となり、雷を伴いました。また、低気圧の通過後は気圧の傾きが大きくなり、25kt 前後の北西の風が吹きました。中旬から下旬は日本の南に前線が停滞し、前線上を低気圧が周期的に通過したため、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC となった日がありました。12 日は台風第 19 号が日本の南から関東地方へ進みました。雨の強まりやもやによる VIS の悪化で IMC となり、ガストを伴って 35kt 前後の北西の風が吹き、最大瞬間風速 51kt、最大風速 40kt を観測しました。

○11 月

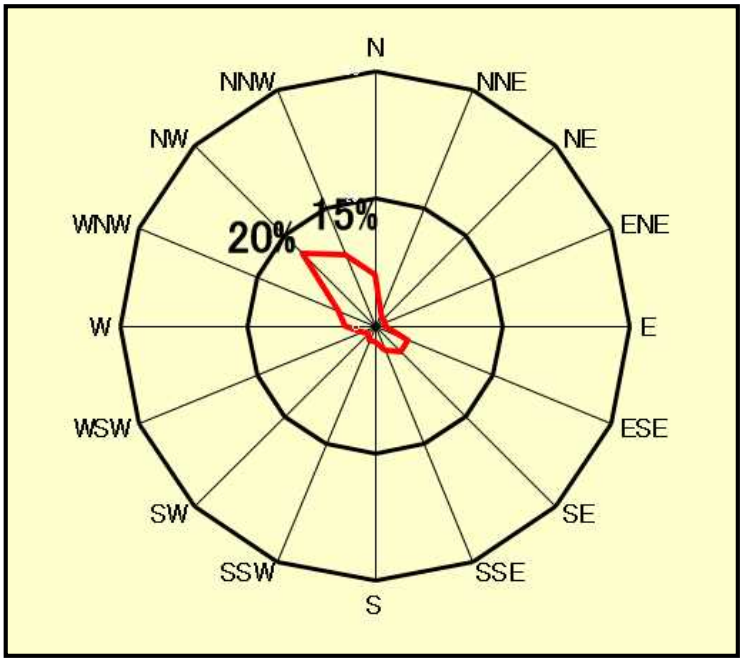
低気圧や前線が日本海を周期的に通過し、その後は西高東低の気圧配置となり、25kt 前後の北西の風の吹く日が多くなりました。中旬から下旬は寒冷前線の通過や日本の南にある前線により、雨の強まりやもやによる VIS の悪化で、IMC となった日がありました。

○12 月

低気圧が日本付近を周期的に通過し、その後は西高東低の気圧配置となり、25kt 前後の北西の風の吹く日が多くなりました。27 日と 31 日はガストを伴って 30～35kt の北西の風が吹き、27 日は最大瞬間風速 49kt、最大風速 38kt、31 日は最大瞬間風速 45kt、最大風速 37kt を観測しました。中旬から下旬は低気圧が日本の南を通過し、雨の強まりやもやによる VIS の悪化や CIG の低下で、IMC となった日がありました。18 日は一時的に霧が発生しました。

注）梅雨の入り・明けは平均的に 5 日間程度の遷移期間があり、その遷移期間の概ね中日をもって、「＊＊日ごろ」と表現しています。

【風(風配図)】2019 年　年間風配図



・10 分毎の風を風向別に集計し、全体からの割合（%）で表したものです。
・割合の多い風向 2 つについて、数値を表示しています。
・外側の円は 50%、内側の円は 25%を表します。

【風（10 分間平均風速)】2019 年　10 分間平均風速の階級別観測回数及び日数

階級＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計（日数）
15kt以上	1934 (29)	1706 (28)	1536 (24)	1276 (25)	916 (20)	597 (18)	380 (17)	636 (20)	702 (17)	1315 (23)	1532 (27)	1563 (22)	14093 (270)
25kt以上	327 (14)	212 (12)	271 (14)	296 (9)	65 (6)	75 (4)	26 (1)	210 (4)	64 (3)	225 (8)	213 (10)	280 (11)	2264 (96)
35kt以上	8 (2)	3 (1)	8 (2)	21 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (1)	0 (0)	27 (2)	0 (0)	13 (2)	109 (11)

（　）中の数値は、観測日数を表します。

(注) 当台では 36 側と 18 側で風を観測していますが、風に関する統計値は、36 側のデータを使用しています。10 分間平均風向の回数は、1 時間あたり 6 回、1 日で 144 回となります。

【雲底の高さ（CIG*1)】2019 年　日最低 CIG の階級別観測日数

階級＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	階級別合計日数
CIG＜100ft	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100ft≦CIG＜200ft	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200ft≦CIG＜600ft	0	4	1	3	0	2	3	1	0	2	0	6	22
600ft≦CIG＜1000ft	0	1	2	1	4	3	7	1	3	4	1	0	27
1000ft≦CIG＜1500ft	0	0	2	2	1	2	6	1	4	1	2	1	22
月毎の合計日数	0	5	5	6	5	7	16	3	7	7	3	7	71

＊1　CIG　：雲量が BKN（5/8）以上の最低雲層の雲底の高さ
雲量は、次のような略語と 8 分量に対応した数字符号を用いています。
SKC：雲量 0、FEW：雲量 1～2、SCT：雲量 3～4、BKN：雲量 5～7、OVC：雲量 8

【卓越視程*2（VIS)】2019 年　日最小 VIS の階級別観測日数

階級＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	階級別合計日数
VIS＜400m	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
400m≦VIS＜800m	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
800m≦VIS＜1600m	1	1	0	0	1	2	3	3	2	2	0	1	16
1600m≦VIS＜3200m	0	1	2	3	4	4	10	5	2	4	2	2	39
3200m≦VIS＜5000m	1	3	4	3	2	4	7	2	1	5	2	3	37
月毎の合計日数	2	5	6	7	8	10	20	10	5	11	4	6	94

＊2　卓越視程：地平円の全方向の視程を観測したとき、地平円の半分（180 度）又はそれ以上の範囲に共通した最も長い距離の水平視程

【滑走路視距離（RVR*3)】2019 年　日最小 RVR の階級別観測日数

階級＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	階級別合計日数
RVR＜200m	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
200m≦RVR＜350m	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
350m≦RVR＜550m	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
550m≦RVR＜800m	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	5
800m≦RVR＜1600m	0	0	0	0	3	4	4	3	5	4	1	2	26
月毎の合計日数	0	0	0	1	4	6	6	6	5	4	1	2	35

＊3　RVR（Runway Visual Range）：滑走路の中心線上の航空機の操縦士が、滑走路面の標識又は滑走路の輪郭を示す灯火、若しくは滑走路の中心線を識別する灯火を見ることができる距離

（注）当台では 36 側、中間（MID)、18 側で RVR を観測していますが、RVR に関する統計値は、36 側のデータを使用しています

【低層ウィンドシアー*4】2019 年　空港気象ドップラーレーダーによるマイクロバーストとシアーラインの観測日数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計日数
マイクロバースト	0	1	2	4	2	7	18	14	7	2	0	3	60
シアーライン	11	3	9	11	5	8	9	14	5	5	0	8	88

（注）レーダー更新工事のため、10 月 18 日 09 時（JST）～11 月 28 日 15 時（JST）停波。

＊4　低層ウィンドシアー：「ウィンドシアー」（上空から降下してくる重い気塊が地表付近で弾けるように発散するマイクロバーストや風の収束線が線上に形成されるシアーラインなど、風向や風速の急激な変化）のうち、高度が滑走路面と上空 1600ft（約 500m）の間までのもの。「ウィンドシアー」は航空機の離着陸に大きな影響を及ぼします。

【台風】

1　台風の発生数、接近数などの概要

2019 年の台風発生数は平年より多く、昨年と同じ 29 個で、特に 9 月と 11 月は 6 個と多くなりました。日本への接近数は 15 個、日本への上陸数は昨年と同じ 5 個でした。

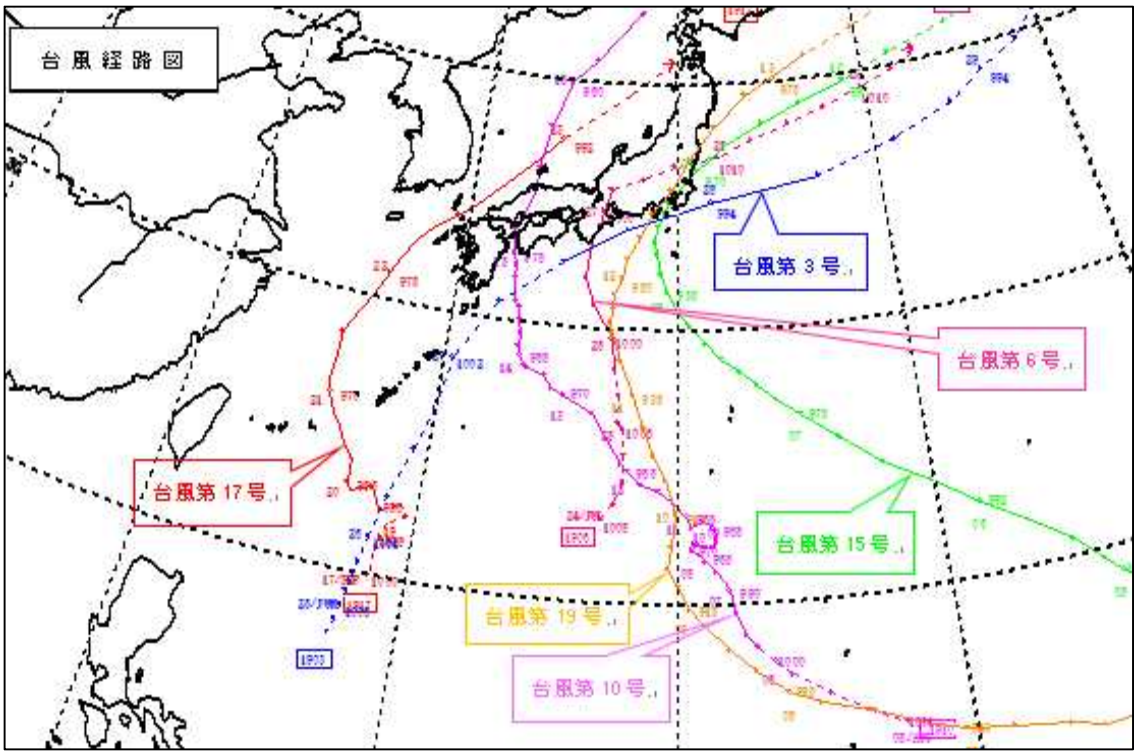
6 月に台風第 3 号、7 月に台風第 6 号がセントレアの近くを通過しました。台風第 6 号では 7 月 27 日に日最大瞬間風速 42kt、日最大風速 33kt を観測し、7 月としてはそれぞれ開港以来第 9 位と第 7 位となりました。

8 月 15 日には、愛媛県佐多岬半島を通過後、広島県呉市付近に上陸した台風第 10 号の影響で、日最大瞬間風速 50kt、日最大風速 39kt を観測し、8 月としては開港以来ともに第 6 位となりました。10 月 12 日には、伊豆半島に上陸した台風第 19 号の影響で、日最大瞬間風速 51kt、日最大風速 40kt を観測し、10 月としては開港以来ともに第 8 位となりました。

2019 年に発生した台風の月別発生数、上陸数、接近数と平年値（1981 年～2010 年の 30 年間平均）

個数区分 ＼ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本年値	台風発生数	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29
	台風上陸数							1	2	1	1			5
	台風接近数（全国）						1	2	3	5	3	1		15
	台風接近数（本土）						1	1	2	2	2			8
	台風接近数（東海）						1	1	1	1	1			5
平年値	台風発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
	台風上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
	台風接近数（全国）				0.2	0.6	0.8	2.1	3.4	2.9	1.5	0.6	0.1	11.4
	台風接近数（本土）				0.0	0.1	0.4	1	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5
	台風接近数（東海）					0.0	0.2	0.5	1	1	0.5	0.0		3.3

台風接近数（全国）
台風の中心が国内のいずれかの気象官署から300km以内に入った台風の個数
台風接近数（東海）
東海地方の静岡県、愛知県、岐阜県、三重県のいずれかの気象官署から300km以内に入った台風の個数
台風接近数の集計
台風の接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません
表中の数字表記
「0.0」は平年値が0.1未満、「空欄」は台風の観測なしを示しています



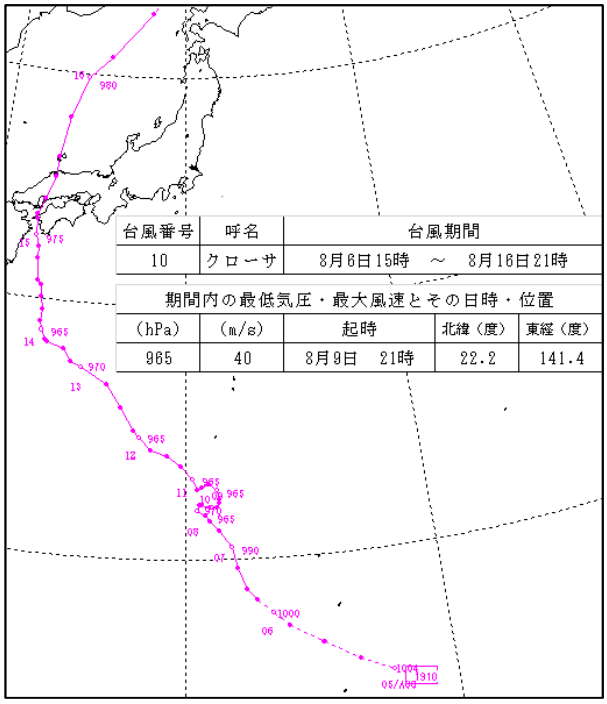
2019 年に東海地方へ接近、およびセントレアへ影響した台風の経路図

実線は台風、破線は熱帯低気圧、または温帯低気圧を示します

２　セントレアに影響のあった台風（欠航便が発生した台風）

<台風第 10 号>

台風第 10 号は 8 月 6 日 15 時にマリアナ諸島付近で発生し、発達しながら小笠原諸島の西から日本の南を北西へ進み、12 日から 13 日には超大型の台風(P9　＜台風の大きさと強さ＞を参照）となりました。その後は進路を北へ変え、15 日 11 時過ぎに愛媛県佐田岬半島を通過し、15 時頃には広島県呉市付近に上陸しました。その後も北へ進み、15 日夜のはじめ頃に日本海へ抜け、速度を上げながら、16 日 21 時に北海道の西で温帯低気圧に変わりました。



台風第 10 号の経路図

セントレアでは台風の接近に伴い、14 日昼過ぎから 16 日朝にかけて断続的にガストを伴って 30kt 前後の南東の風が吹きました。日最大瞬間風速は 14 日 15 時 11 分に東南東の風 38kt、15 日 17 時 52 分に南東の風 50kt、16 日 01 時 22 分に南東の風 45Kt、日最大風速は 14 日が 14 時 21 分に東南東の風 30kt、15 日 15 時 01 分に南東の風 39kt、16 日 01 時 29 分に南東の風 34kt を観測しました。

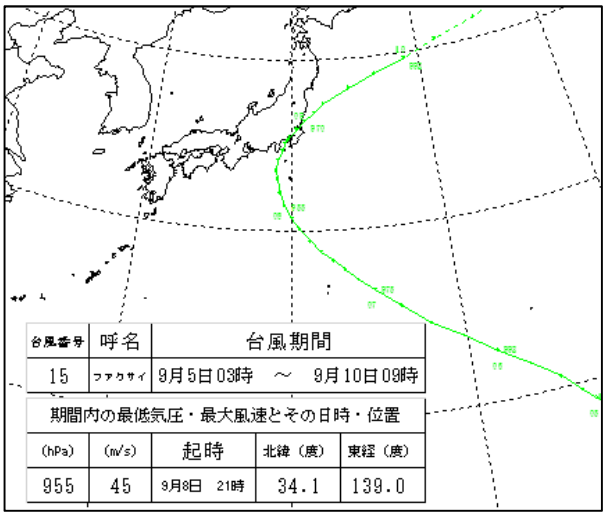
また、14 日明け方から 16 日朝までの総降水量は 78.0 ㎜となり、14 日昼過ぎから夜のはじめ頃にかけてと 15 日未明から 16 日明け方にかけては雨の強まりやもやによる VIS の悪化で、断続的に IMC となりました。台風がセントレアに最も接近した 16 日 01 時 28 分に日最低海面気圧 991.4hPa を観測し、8 月としては開港以来第 6 位となりました。

15 日から 16 日にかけてセントレアを離着陸する航空機の定期便は、到着 138 便、出発 141 便が欠航し、到着 63 便、出発 80 便に遅延が発生しました。空港へのアクセスとなる交通機関は名古屋鉄道空港線が 15 日 12 時から運転見合せとなり、これに伴って代行バスが運行されましたが、15 時 50 分から 21 時 15 分までは代行バスも運転見合せとなりました。海上交通の津エアポートラインの定期船は、14 日 8 時から 15 日までの全ての便と 16 日の一部の便が欠航となりました。

〈台風第 15 号〉

台風第 15 号は 9 月 5 日 03 時に南鳥島の南で発生し、発達しながら小笠原諸島から伊豆諸島を北西から北へ進み、8 日には非常に強い台風（P9　＜台風の大きさと強さ＞を参照）となりました。9 日 03 時前に神奈川県の三浦半島付近を通過、05 時前には千葉県千葉市付近に上陸し、茨城県を通って日本の東へ抜け、10 日 09 時に北海道の南東で温帯低気圧に変わりました。

セントレアでは 9 日未明から明け方にかけて 25kt 前後の西よりの風が吹き、最大瞬間風速は 02 時 29 分に西の風 32kt、最大風速は 02 時 20 に西の風 27kt を観測しました。



台風第 15 号の経路図

セントレアを離着陸する航空機の定期便は、9 便が欠航し、東京国際空港からのダイバート 4 便が発生しました。

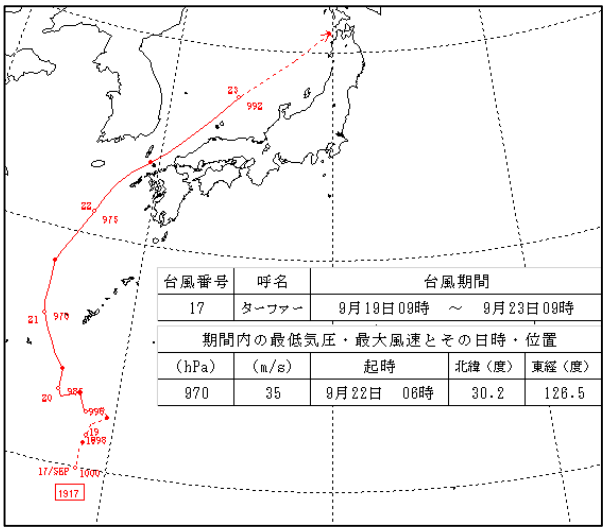
気象庁では、顕著な災害をもたらした台風第 15 号について、「令和元年房総半島台風」と名称を定めました。

〈台風第 17 号〉

台風第 17 号は 9 月 19 日 09 時に沖縄の南で発生し、発達しながら東シナ海を北へ進み、21 日 03 時には沖縄付近で大型の強い台風（P9 ＜台風の大きさと強さ＞を参照）となりました。その後は進路を北東へ変え、23 日 00 時に対馬海峡を通過し、日本海沿岸を進み、23 日 09 時に温帯低気圧に変わりました。

セントレアでは 22 日夕方から 23 日未明にかけて断続的にガストを伴って 25kt 前後の東よりの風が、23 日明け方から朝にかけては 25kt 前後の南東の風が吹きました。

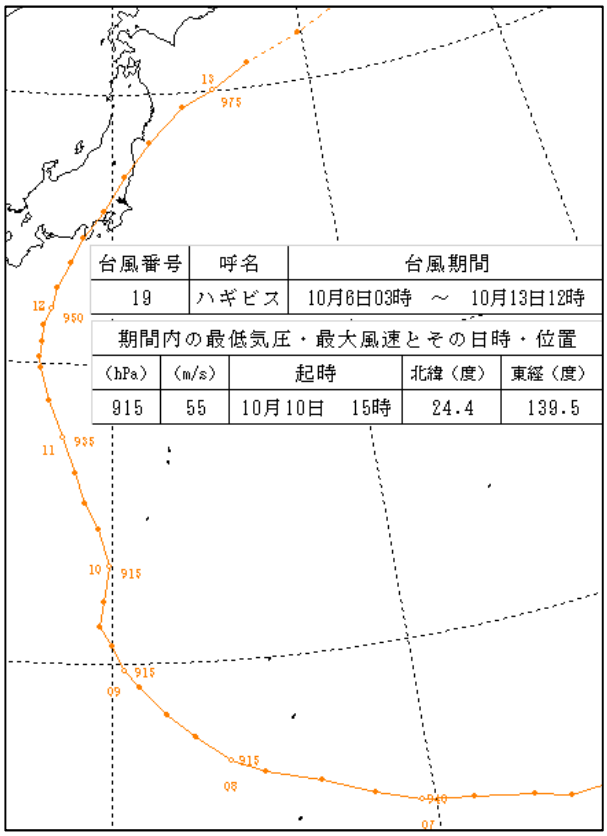
セントレアを離着陸する航空機の定期便は、22 日に 29 便が欠航しました。



台風第 17 号の経路図

〈台風第 19 号〉

台風第 19 号は 10 月 6 日 03 時にマリアナ諸島の東で発生し、急速に発達しながら小笠原諸島の西から日本の南を北へ進み、7 日 21 時から 10 日 15 時にかけて中心気圧が 915hPa となり、大型で猛烈な台風（P9　＜台風の大きさと強さ＞を参照）となりました。その後も北へ進み、12 日 19 時前に伊豆半島へ上陸し、関東地方から東北南部を通り、三陸沖へ抜け、速度を上げながら 13 日 12 時に北海道の南東で温帯低気圧に変わりました。



台風第 19 号の経路図

セントレアでは台風の接近に伴い、12 日未明から 13 日昼前にかけて断続的にガストを伴って 35kt 前後の北西から北の風が吹きました。最大瞬間風速は 12 日 17 時 32 分に北西の風 51kt、13 日 04 時 08 分に北西の風 42kt で、最大風速は 12 日 22 時 15 分に北西の風 40kt、13 日が 04 時 16 分に北西の風 35kt を観測しました。

また、11 日夜遅くから 12 日夜のはじめ頃までの総降水量は 122.5 ㎜となり、12 日明け方から昼過ぎにかけて雨の強まりやもやによる VIS の悪化で、IMC となりました。12 日の日降水量は 117.5 ㎜となり、開港以来第 4 位、10 月としても開港以来第 3 位となりました。

台風がセントレアに接近した 12 日 19 時 10 分に日最低海面気圧 980.3hPa を観測し、開港以来第 10 位、10 月としても開港以来第 6 位となりました。

11 日から 13 日にかけてセントレアを離着陸する航空機の定期便は、11 日 20 便、12 日 253 便、13 日 51 便が欠航しました。空港へのアクセスとなる交通機関は名古屋鉄道空港線が 12 日 10 時 20 分から最終まで運転見合せとなり、海上交通の津エアポートラインの定期船も 11 日 17 時から 13 日 9 時までの便が欠航となりました。

気象庁では、顕著な災害をもたらした台風第 19 号について、「令和元年東日本台風」と名称を定めました。

【参考】

＜台風と熱帯低気圧＞

1　熱帯低気圧

（1）熱帯または亜熱帯地方に発生する低気圧の総称で、風の弱いものから台風やハリケーンのように強いものまである。

（2）気象情報などで「熱帯低気圧」を用いる場合は、台風に満たない、低気圧域内の最大風速がおよそ 17m/s（34kt、風力 8）未満のものを指す。

備考：熱帯じょう乱のうち、低気圧性循環の中心が不明瞭なものは、原則として「低圧部」と解析される。

2　台風

北西太平洋または南シナ海に存在する熱帯低気圧のうち、低気圧域内の最大風速（10 分間平均風速）がおよそ 17m/s（34kt、風力 8）以上のもの。

＜台風の大きさと強さ＞

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、下表のように風速（10 分間平均）をもとに台風の「大きさ」と「強さ」 を表現します。 「大きさ」は強風域（風速 15m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性のある範囲）の半径、「強さ」は最大風速で区分しています。

さらに、風速 25m/s 以上の風が吹いているか、吹く可能性のある範囲を暴風域と呼びます。

大きさの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型（大きい）	500km以上～800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s（64ノット）以上～44m/s（85ノット）未満
非常に強い	44m/s（85ノット）以上～54m/s（105ノット）未満
猛烈な	54m/s（105ノット）以上

【飛行場警報・飛行場気象情報発表状況】

2019 年の飛行場警報発表積算時間は、「強風警報」が 167 時間 37 分、「暴風警報」が 10 時間 22 分となりました。飛行場気象情報発表積算時間は、「ウィンドシアーに関する情報」が 442 時間 24 分と最も多く、次いで「雷に関する情報」が 95 時間 41 分、「ウィンドシアー/雷に関する情報」が 22 時間 14 分となりました。

2019 年における「飛行場警報」「飛行場気象情報」の月毎の種別発表積算時間表

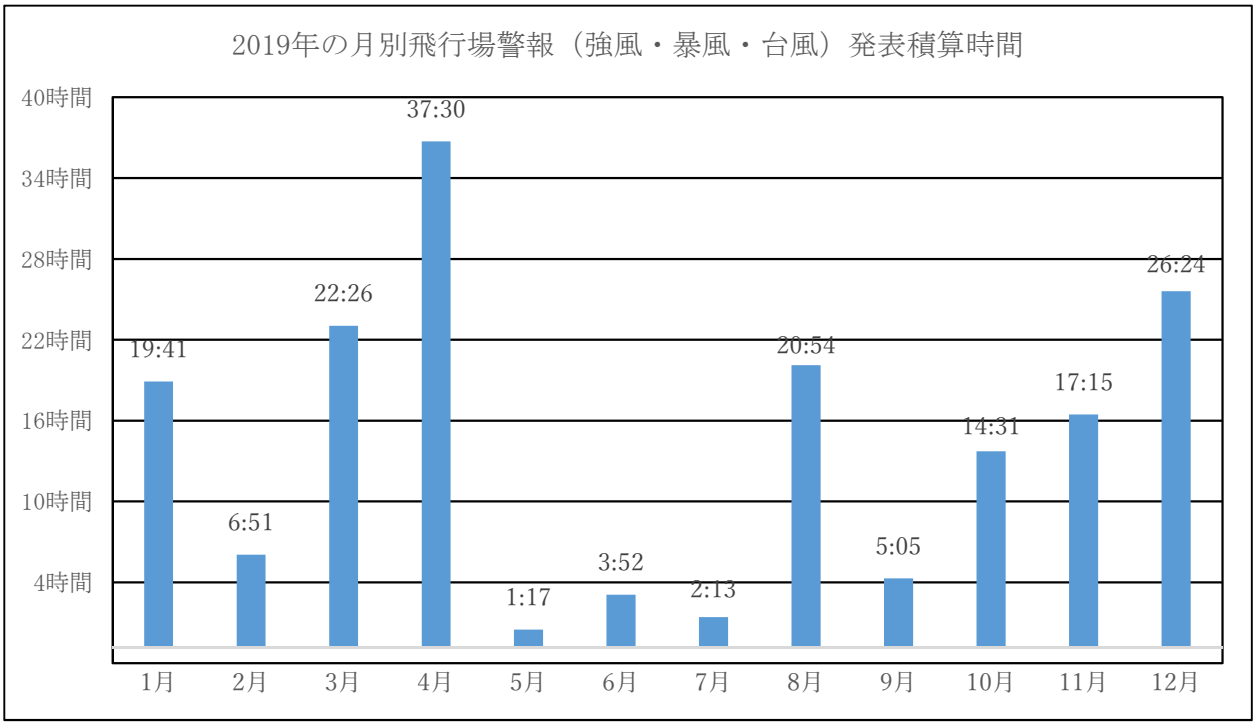
2019年

警報情報種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月
高潮警報	－	－	－	－	－	－
台風警報	－	－	－	－	－	－
暴風警報	－	－	－	－	－	－
強風警報	19時間41分	6時間51分	22時間26分	37時間30分	1時間17分	3時間52分
ウィンドシアー	23時間18分	22時間10分	44時間22分	52時間22分	52時間54分	50時間03分
ウィンドシアー／雷	－	－	4時間48分	－	3時間59分	4時間47分
ウィンドシアー／大雪	－	－	－	－	－	－
大雪	－	－	－	－	－	－
雷	－	－	－	1時間07分	2時間41分	14時間21分

警報情報種別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
高潮警報	－	－	－	－	－	－	0時間00分
台風警報	－	－	－	－	－	－	0時間00分
暴風警報	－	－	－	10時間22分	－	－	10時間22分
強風警報	2時間13分	20時間54分	5時間05分	4時間09分	17時間15分	26時間24分	167時間37分
ウィンドシアー	44時間25分	43時間29分	40時間23分	55時間44分	8時間05分	5時間09分	442時間24分
ウィンドシアー／雷	1時間18分	－	－	7時間22分	－	－	22時間14分
ウィンドシアー／大雪	－	－	－	－	－	－	0時間00分
大雪	－	－	－	－	－	－	0時間00分
雷	19時間16分	16時間57分	26時間57分	10時間34分	3時間48分		95時間41分

・2019 年の月別飛行場警報（強風・暴風・台風）発表積算時間

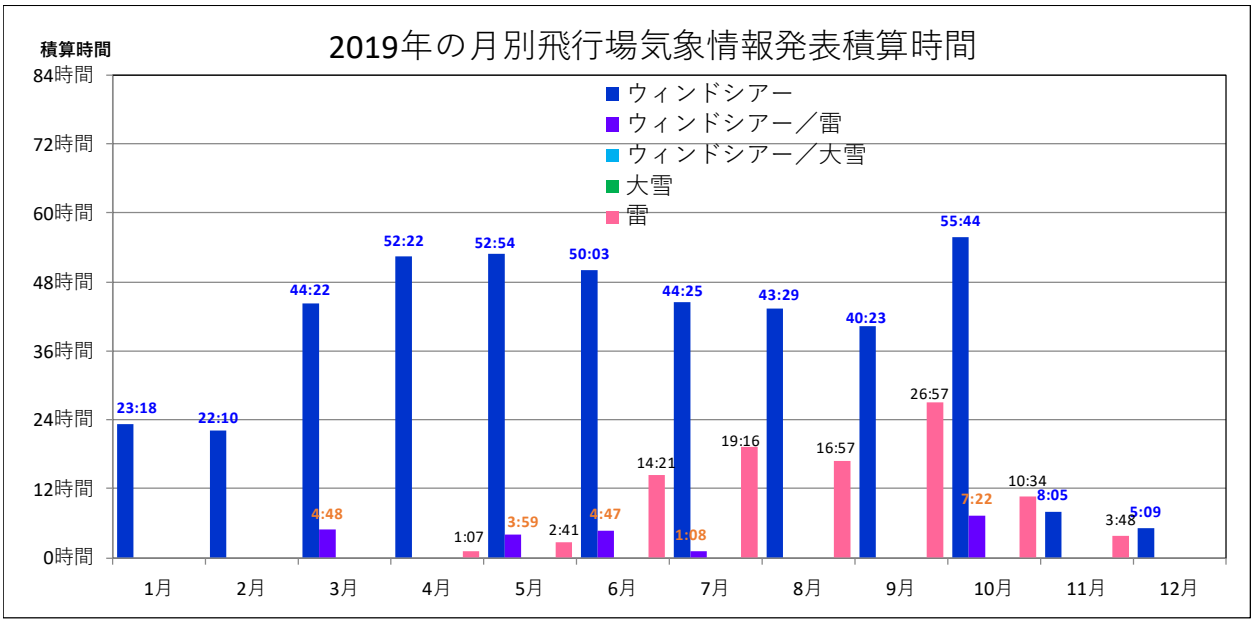
2019 年の月別飛行場警報発表積算時間は 4 月が最も長く、次いで 12 月、3 月、8 月、1 月となり、5 月から 7 月と 9 月が短くなっています。季節ごとの主な要因は、春は発達した低気圧が日本の南や日本海を通過したこと、夏から秋は台風の接近や発達した低気圧が日本海を通過したこと、冬は日本付近を低気圧が通過後、西高東低の気圧配置の強まりによるものでした。



2019 年の月別飛行場警報（強風・暴風・台風）発表積算時間のグラフ

・2019 年の月別飛行場気象情報発表積算時間

2019 年の月別飛行場気象情報発表積算時間は、「ウィンドシアーに関する飛行場気象情報」が 3 月から 10 月にかけて長く、11 月から 12 月にかけては特に短くなっています。7 月から 10 月にかけては「雷に関する飛行場気象情報」の発表時間が長くなりました。



2019年の航空気象観測年表

官署名　中部航空地方気象台

月/要素	平均気圧		気温					相対湿度			最大風速			最大瞬間風速			降雪の深さの合計cm	積雪の深さの	
	現地	海面	平均	最高		最低		平均	最小		風向	風速		風向	風速			最大09h cm	起日
	×0.1hPa	×0.1hPa	×0.1℃	×0.1℃	起日	×0.1℃	起日	%	%	起日	36方位	kt	起日	36方位	kt	起日			
1月	10187	10196	67	123	5	−8	10	63	26	30	320	39	26	310	48	26	0	−	−
2月	10190	10199	77	167	25	−16	15	63	30	26	310	36	1	310	45	1	−	−	−
3月	10140	10148	102	207	21	9	9	66	17	18	310	38	22	300	46	22	−	−	−
4月	10132	10140	137	240	22	17	4	67	15	16	310	41	27	320	49	27	−	−	−
5月	10125	10133	193	303	25	84	8	69	14	8	150	30	21	150	45	21			
6月	10064	10072	225	304	28	167	11	78	38	6	110	35	15	110	34	15			
7月	10080	10088	253	331	31	204	14	84	55	26	130	33	27	130	32	27			
8月	10079	10086	283	353	13	228	23	78	48	12	130	39	15	140	31	15			
9月	10136	10144	260	343	9	189	20	74	39	19	110	35	22	110	61	22			
10月	10145	10153	208	290	3	125	30	72	27	9	300	40	12	320	37	12			
11月	10183	10191	149	220	18	74	30	62	23	29	320	34	14	330	45	14	−	−	−
12月	10204	10212	102	163	10	27	29	65	34	15	310	38	27	310	45	27	−	−	−
年	10139	10147	171	353	8/13	−16	2/15	70	14	5/8	310	41	4/27	320	51	10/12	0	−	−

月/要素	降水量							気温階級別日数							最大風速階級別日数				大気現象日数		
	月合計	最大日合計		最大1時間		最大10分間		最低 <0.0 ℃	平均 <0.0 ℃	最高 <0.0 ℃	最低 ≧25.0 ℃	平均 ≧25.0 ℃	最高 ≧25.0 ℃	最高 ≧30.0 ℃	≧20 kt	≧30 kt	≧40 kt	≧50 kt	雷	霧	雪
	×0.1mm	×0.1mm	起日	×0.1mm	起日	×0.1mm	起日														
1月	200	190	31	45	31	15	31	2	0	0	0	0	0	0	23	6	0	0	0	0	2
2月	545	285	28	85	19	25	19	1	0	0	0	0	0	0	19	1	0	0	0	0	0
3月	690	320	10	75	11	25	11	0	0	0	0	0	0	0	20	6	0	0	0	0	0
4月	1110	360	30	80	29	20	29	0	0	0	0	0	0	0	19	5	1	0	0	1	0
5月	1465	780	21	220	21	65	14	0	0	0	0	0	8	1	9	1	0	0	0	1	0
6月	1865	660	27	275	27	135	27	0	0	0	0	3	18	2	6	2	0	0	3	0	0
7月	2375	350	4	280	4	95	18	0	0	0	6	15	30	8	6	1	0	0	4	0	0
8月	1695	375	16	215	23	75	23	0	0	0	22	31	31	26	7	4	0	0	2	1	0
9月	1130	855	5	315	5	85	5	0	0	0	5	20	30	11	12	2	1	0	4	0	0
10月	3520	1175	12	250	25	100	25	0	0	0	0	3	10	0	17	2	0	0	3	0	0
11月	150	55	26	35	11	35	11	0	0	0	0	0	0	0	19	3	0	0	0	0	0
12月	530	170	2	65	2	20	2	0	0	0	0	0	0	0	20	4	0	0	0	1	0
年	15275	1175	10/12	315	9/5	135	6/27	3	0	0	33	72	127	48	177	37	2	0	16	4	4

月/要素	日降水量階級別日数								降雪の深さの日合計階級別日数						日最深積雪階級別日数						
	≧0.0 mm	≧1.0 mm	≧5.0 mm	≧10.0 mm	≧30.0 mm	≧50.0 mm	≧70.0 mm	≧100.0 mm	≧0 cm	≧5 cm	≧10 cm	≧20 cm	≧50 cm	≧100 cm	≧0 cm	≧5 cm	≧10 cm	≧20 cm	≧50 cm	≧100 cm	≧200 cm
1月	15	1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	9	5	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	16	8	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	13	9	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	11	7	4	3	2	1	1	0													
6月	20	12	7	5	2	1	0	0													
7月	25	19	13	10	1	0	0	0													
8月	16	10	8	6	2	0	0	0													
9月	14	8	3	2	1	1	1	0													
10月	18	13	10	7	4	2	2	1													
11月	11	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	16	7	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年	184	104	62	44	15	5	4	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注：（雪に関わる統計）は、主に冬季に観測する要素で、年をまたいで統計を行う必要があり、寒候年として前年8月から当年7月までの1年間について行います。
このため、「年」の値は、2019寒候年（2018年8月から2019年7月までの1年間）の値となっています。

観測極値順位表(2005年2月17日～2019年12月31日)

中部航空地方気象台

	日最高気温 高い方から(℃)	日最低気温 低い方から(℃)	日最小湿度 (%)	日平均湿度 低い方から(%)	日最大風速 (kt)		日最大瞬間風速 (kt)		日降水量 多い方から(mm)	日最大1時間降水量 (mm)	日最大10分間降水量 (mm)	降雪の深さ日合計 多い方から(cm)	積雪の深さ(09時) (cm)
1位	36.1	−3.1	12	41	64	SSE	90	SSE	251.0	40.5	20.0	8	5
	2013/8/10	2016/1/25	2011/4/1	2011/4/12	2018/9/4		2018/9/4		2017/10/22	2009/11/11	2009/7/26	2006/12/29	2017/1/15
2位	36.0	−3.0	13	42	64	NNW	86	NNW	124.5	39.5	19.0	5	4
	2013/8/11	2012/2/1	2016/3/22	2015/3/26	2009/10/8		2009/10/8		2010/10/9	2009/10/8	2009/11/11	2017/1/15	2018/1/25
3位	35.6	−2.4	**14**	42	63	SE	77	SSE	123.5	35.0	14.0	5	4
	2018/7/23	2012/2/19	**2019/5/8**	2010/3/30	2018/9/30		2018/9/30		2007/7/14	2017/10/22	2010/8/12	2005/12/22	2006/12/29
4位	35.6	−2.1	14	42	51	E	67	ESE	**117.5**	34.5	**13.5**	4	3
	2010/9/12	2013/1/5	2008/5/6	2007/4/27	2015/8/25		2012/9/30		**2019/10/12**	2015/7/9	**2019/6/27**	2018/1/25	2016/1/25
5位	35.4	−1.9	14	43	51	NNW	66	NNE	116.5	34.0	13.0	4	2
	2010/9/4	2018/1/25	2007/5/12	2017/1/6	2013/9/16		2018/7/29		2011/9/4	2017/10/23	2013/9/4	2008/2/9	2017/1/16
6位	**35.3**	−1.8	14	43	51	E	65	NW	110.0	33.5	13.0	3	2
	2019/8/13	2006/2/10	2007/4/10	2008/1/19	2012/9/30		2013/9/16		2015/9/9	2015/9/9	2009/7/22	2016/1/25	2011/1/16
7位	35.3	−1.7	**15**	44	49	ESE	63	ESE	98.5	33.0	13.0	3	2
	2018/8/3	2011/1/16	**2019/4/16**	2014/4/12	2018/7/29		2017/9/17		2014/8/9	2013/9/4	2008/9/21	2011/1/16	2008/2/24
8位	35.1	−1.7	15	45	49	NNW	62	SSE	97.0	32.0	12.5	2	1
	2018/8/6	2006/2/4	2017/3/20	2016/1/24	2011/9/21		2014/8/10		2009/10/7	2012/6/19	2005/6/4	2008/2/24	2014/2/14
9位	35.0	**−1.6**	15	45	48	NW	61	NW	96.5	**31.5**	11.5	1	1
	2013/8/12	**2019/2/15**	2014/4/14	2015/3/13	2017/10/23		2016/9/20		2009/11/11	**2019/9/5**	2015/7/9	2017/1/14	2013/2/8
10位	34.8	−1.5	15	45	48	SE	61	ESE	95.5	30.5	11.5	1	1
	2013/8/19	2018/2/9	2009/3/8	2014/4/11	2017/9/17		2015/8/25		2012/6/19	2014/8/23	2014/8.23	2014/2/14	2010/2/6

注)「表中」黄色の塗りつぶしは、2019年において更新された観測値とその観測年月日を表します。

© 中部航空地方気象台 2020
本資料は、複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。利用を行う際は適宜の方法により、必ず出所（中部航空地方気象台）を明示してください。
その他、利用にあたっての詳細は、中部航空地方気象台ホームページの利用規約（https://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/copyright.htm）をご確認ください。
なお、本資料は速報としてまとめたもので、後日、内容の修正や詳細な資料を作成する場合があります。

※データに付加する記号の意味

表示例	意味	解説
値	正常値	品質に問題がなく、かつ統計値を求める期間内の資料が全て揃っている場合。（一部不足していても、日の最大値などを求める際に影響がない場合も含みます）
値)	準正常値	品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合。
値]	資料不足値	統計値を求める対象となる資料が許容する資料数を満たさない場合。資料不足値には十分な信頼性がありませんので、ご利用に際しては十分留意願います。
－	現象なし	統計値を求める期間内に現象が発生しなかった場合。
×	資料なし（欠測）	測器の故障などで値が得られなかった場合。
空白	統計しない	統計値を求める期間に観測を行っていない場合。
*	極値の起日重複	1つの極値に対して、期間内に起日が2日以上ある場合。起日の新しい方を掲載し、日の欄に*を付加しています。
#	疑問値	観測した結果に問題がある場合。値は表示しておりません。日の最大値を求めるなど、統計処理の際には欠測と同等に扱います。

はれるん
気象庁マスコットキャラクター

「セントレアの気象」年報　2019年１月～12月

編　集　：　中部航空地方気象台
発　行　：　中部航空地方気象台
発行日　：　2020（令和２）年３月５日

〒479-0881
常滑市セントレア一丁目１番（CAB庁舎）
TEL　0569-38-0003

中部航空地方気象台ホームページ
https://www.jma-net.go.jp/chubu-airport/